



令和4年2月18日

No. 101 号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉
〈児童数 192名〉

TEL 623-6019

2 / 1 4 (月) ~ 1 6 (水) ... 温かなまなざし

奨学会 “第3回街頭指導” 3日間

～お寒い中 早朝からありがとうございました～

立春が過ぎ、2月も半ばとなりましたが、まだ寒い日が続き雪が舞っています。16日(水)の朝は、前日の湿った雪でツルツルの歩道になりました。今週月曜日から3日間、奨学会生活文化部主催による“街頭指導”が実施され、お寒い中、そして早朝からのご指導、見守りをしていただきました。生活文化部の山口部長さん始め、部員の木村さん、浅黄さん、駒林さん、星さん、木村さんが巡回して下さり、立哨では、1年保護者の名取さん、吉田さん、遠藤さん、相磯さん、増川さん、山内さん、3年保護者の瀬尾さん、4年保護者の石川さん、5年保護者の萬年さん、菊野さん、伊藤さん、6年保護者の太田さん、向田さん、菅原さん、豊田さんたちが指導や見守りをして下さいました。心から感謝申し上げます。

我が子も含めた「いちょうの子」への温かな「まなざし」が伝わって参りました。大人のそういう姿勢が、次代を担う子どもたちを育てていく重要な環境になる。そう確信できる3日間でありました。ねらいは、次の3点でありました。

- ①交通事故防止に努めると共に、児童の交通安全に対する意識の高揚を図る
- ②交通ルールを指導し、事故防止につなげる
- ③安全な登校経路・方法の習慣化と集団登校時における安全確認の徹底を図る

奨学会生活文化部の活動として、これまで連綿と続いて参りました。お陰様で、登下校時も含め交通事故は「0」です。もちろん、毎日ご指導いただいている3名の交通指導員さんのご指導の賜でもありますし、第四地区交通安全対策協議会があるということでもあります。地域の大切な子どもを地域で育てる。保護者母体の奨学会が主体となって取り組むからこそ、第四学区の皆様も支えて下さる。地域が支えて下さるからこそ、奨学会もさらに本気で取り組み、交通安全・交通事故「0」というシナジー（相乗効果）が生まれてきます。まさに、学校運営協議会（コミュニティスクール）のめざす姿です。本校は、そういう伝統に守られ、支えられてきましたし、これからもそう願います。

3月3日には『学校運営協議会』が立ち上がります。地域とともにある学校として、これからも、しっかりと「いちょうの子」を育てて参りたいと思います。

“交通指導員さん”にも感謝申し上げます！

～毎日のご指導 本当にありがとうございました～